

富士河口湖町立 教育センターだより

No.15



平成27年9月8日文責 中澤 敦子

二学期が始まりました



この夏は記録的な猛暑と言われ、ここ富士河口湖町でも「熱中症」を心配する日々が続きました。しかし、8月お盆の頃には暑さも和らぎ本来の涼しさが増えてきてほっとしたところです。

さて、子ども達はそれぞれの思い出を「力」に変えて2学期を元気にスタートさせることができたことでしょう。先生方もひとり一人のこの夏の成長に目を細められたことと思います。二学期は運動会、学園祭の練習に始まり行事が多く予定されています。行事を通して、仲間と一緒に作り上げる難しさ、苦しさ、楽しさ、そして、そこでしか味わうことのできない充実感と感動を宝物として子ども達に大切に蓄えていってほしいと思います。そのためにも、今まで同様、教育センターは、町や学校、各種機関と手を携えて「よりよい学習環境作り」に努力していきます。

電子黒板デジタル教科書の活用状況は？

小学校4年生以上と中学校の全クラスに導入した「電子黒板」そして、4年生から6年生に導入した「算数理科のデジタル教科書」の活用状況について、学校情報担当者会を中心にアンケート調査を実施していただきました。結果、小学校では4年生以上のみならず3年生以下の先生方も含め、電子黒板を積極的に活用していることがわかりました。デジタル教科書についてもほとんどの先生が授業に活用しています。そして多くの先生方から「子どもが集中し学習理解が深まる」「指導がしやすい」「動画など補助教材が使える」など、電子黒板やデジタル教科書の有効性に関する意見をいただきました。

ただ、電子黒板について、小学校に比べて中学校の活用状況が低いという実態も把握できました。現場の意見要望も聞きながら、より子どもたちが楽しくいきいきと学習できる環境をつくるために、これからも事例の紹介や研修の場の設定をおこなっていこうと考えています。



第3回デジタル教科書活用研修を行いました



電子黒板とともに導入した「デジタル教科書」を有効に活用してもらうため、夏休みも残り少なくなった8月20日、小立小学校において、ICTスキルアップ講座「第3回デジタル教科書活用研修会」を実施しました。今回も東京書籍の田嶋文嗣さんを講師にお願いし、デジタル教科書の基本的な活用方法をはじめ、バージョンアップした部分の説明など、参加者自身が実際に教科書を動かしながら、有意義な時間を過ごしました。まずはデジタル教科書の基本的な活用方法を知ってもらおうと実施した計3回の研修に、低学年や管理職も含め、のべ80名近い先生方が参加しました。今後、授業にどういかしていくかなど有効な活用方法についての研修へと進めていきたいと考えています。